

# 広島市歯科医師会だより



Hiroshima City Dental Association

# 11 月号

No.199 (R5.11.14)



## もくじ

### 行事報告

第 40 回 健康ソフトボール大会 広島市歯科医師会連絡協議会	1
第 54 回 十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会	1
令和 5 年度 広島市歯科医師会 第 1 回 学術講演会	2
第 40 回 健康 ソフトボール大会	2
第 4 回 支部長・副支部長会議	3

### 支部だより

中区支部	4
東区支部	6
南区支部	7
西区支部	8

### ちよつとイイ話

インボイス制度について(～歯科医院・「渡す側」編～)(総務部)	12
ADHD/ 発達障害について考える(学術部)	12
広島市歯科医師会会員紹介(厚生部)	13
～ハハ姉妹の学校ニュース《7 時間目》「歯科技工士さんのお仕事」～(地域歯科保健部)	15

### 各部からの報告

広島市医療安全推進協議会より -こんな医療トラブルが起きています-(総務部)	16
障害福祉等に関するアンケート調査 調査結果報告について(地域歯科保健部)	16
今月の知っておきたいこと(広報部)	17
YouTube(広報部)	19
FM ちゅーピー(広報部)	19
会長コラム『笑門來福』健康	20

### 会員ひろば

新入会員紹介	21
LINE 公式アカウント 友達募集	21
10 月定例理事会報告	22



クリスマスパーティー 12 月 23 日(土) 午後 6 時～  
ANA クラウンプラザホテル広島

ゲストは歌まね新世代のエース 松浦航大 さん!



申込期限 11 月 27 日(月) 詳しくは別紙をご参照ください。

# 行事報告

## — 第 40 回 健康ソフトボール大会 広島市歯科医師会連絡協議会 —

日時：10月2日(月)午後8時

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

標記の会が開催された。

この会議は、4年ぶりに開催される「第40回健康ソフトボール大会」において、各支部との連絡並びに協議を趣旨として開催されるものである。議長は波田佳範中区支部長が務め、10月15日に開催される、健康ソフトボール大会の大会運営や、当日の連絡方法等について協議された。

今回開催が4年ぶりということで、想定外の事態が生じた。各支部において、家族の行事(運動会等)が重なるということで、当日の参加ができない会員が出た。そのため、選手集めに苦心した支部が見受けられた。

そのような不測の事態が生じた際の対応方法等が協議

されたのであった。

この会議には、中区支部より香川次郎氏、花木清隆氏、南区支部より竹田茂支部長、橋岡優氏、東区支部より岩井敏之支部長、西区支部より小玉基史氏が出席した。



協議の様子

## 第 54 回 十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会

日時：10月7日(土)午後2時

場所：「川崎日航ホテル」

十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会は、川崎市、熊本市、名古屋市、神戸市、北九州市、広島市、札幌市、福岡市、仙台市、さいたま市、岡山市、横浜市、新潟市の13指定都市の歯科医師会で構成される協議会で、共通した地方自治体と関連のある都市の市民の保健・医療・福祉の向上及び歯科医師会相互の発展向上に寄与し、各都市にて大規模災害が発生した時に、相互扶助の精神に基づきお互いの支援活動をするものである。本年度は川崎市で開催され、執行部からは瓜生賢会長、能美和基副会長、若林大輔副会長、森本慎樹専務理事、谷巖範理事が出席して右記の要綱にて開催された。

メインテーマ「公益性と会員の利益について」

1. 開会挨拶 川崎市歯科医師会会長 松山知明
2. 来賓挨拶 川崎市市長 福田紀彦  
日本歯科医師会会長 高橋英登  
神奈川県歯科医師会会長 守屋義雄
3. 出席者紹介
4. 特別講演 「特別市について」  
川崎市市長 福田紀彦
5. 基調講演 「これからの歯科界を考える」  
日本歯科医師会会長 高橋英登
6. 協議 (1) 「公益性と会員の利益について」  
(2) 第55回十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会からの  
共通アンケートの実施について  
(3) その他
7. 次回開催市挨拶 熊本市歯科医師会会長 渡辺猛士



(左) 参加した 左より谷徹範理事、森本慎樹専務理事、瓜生賢会長、能美和基副会長、若林大輔副会長  
(右) 川崎日航ホテル会場の様子

## 令和 5 年度 広島市歯科医師会 第 1 回 学術講演会

日時：10月13日(金)午後7時30分

場所：県歯会館 2階「ハーモニーホール」

「睡眠時呼吸障害における口腔内装置による治療の役割」という演題で柳本惣市広島大学大学院医系科学研究科口腔腫瘍制御学教授にご講演いただいた。

講演は睡眠時呼吸障害の分類の1つであり歯科の領域と関連性のある閉塞性睡眠時無呼吸(Obstructive sleep apnea(以下 OSA))の病態学から始まり、OSA と全身疾患との関連性や、発症の危険因子についての説明があった。現在では医科で行われている CPAP(Continuous Positive Airway Pressure：経鼻的持続陽圧呼吸療法)療法が認知されてきているが、実際には医科での検査(PSG 検査)で重症であると診断された患者でないと保険適用で CPAP 療法を受けることはできず、軽症～中等度の OSA 患者には歯科での睡眠指導が有効であると日本睡眠学会でのガイドラインでも記載がある。OSA に対する歯科の治療介入として睡眠時の口腔内装置装着がある。下顎位が前方維持されるように作製し、装着することで睡眠時の舌根沈下防止と気道の確保が期待できるとのことだった。

講演では、柳本教授が開発改良してきた NK コネクター II を用いた口腔内装置の具体的な作り方を作製中の写真を交えてご教示いただいた。今後、ますます口腔内装置の適応は拡大され、歯科医師が医師と綿密な連携を取りつつ睡眠時呼吸障害の治療の一翼を担うことが期待される。講義終了後は質疑応答もなされ盛会のうちに閉会した。



講演される柳本惣市教授

## 第 40 回 健康ソフトボール大会

日時：10月15日(日)午前9時30分

場所：「尾道市御調ソフトボール球場」

コロナ禍による大会中止のため4年ぶりの開催となった。当日は最高の秋晴れとなり、皆久しぶりの公式戦を楽しんだ。

今回は A クラス、B クラスの二部制で行われ、結果は中区 B クラス降格、西区、東区、南区は B クラス残留

となった。広島市以外のチームでは骨折者も出るなど、健康ソフトボールとは言え、十分に気を付けなければいけないと教えられる大会となった。



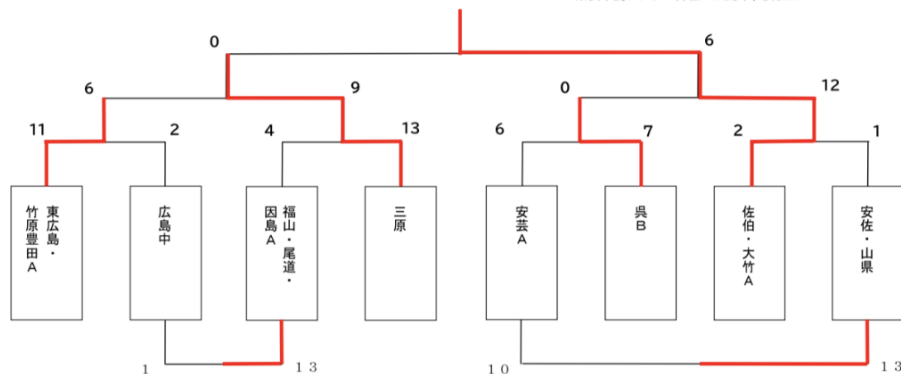
令和5年度第40回ソフトボール大会

Aクラストーナメント表



優勝

優勝 佐伯Aチーム  
 準優勝 三原チーム  
 最優秀賞 佐伯Aチーム 兼 池 宏 治 選手  
 敢闘賞 三原チーム 岡 本 健太郎 選手  
 ※次年度Bクラス降格 広島中、安芸A



令和5年度第40回健康ソフトボール大会

Bクラス リーグ表

優勝 佐伯・大竹Bチーム  
 準優勝 安芸Bチーム  
 最優秀賞 佐伯・大竹Bチーム 道 佛 雄 次 選手  
 敢闘賞 安芸Bチーム 西 川 正 雄 選手  
 ※優勝、準優勝チームはAクラスへ昇格

広島東	17 対 18	福山・尾道・因島B
安芸高田・三次・庄原 府中・神石・御調世羅	5 対 6	佐伯・大竹B
広島南	8 対 9	呉A
東広島・竹原豊田B	2 対 17	安芸B
広島西	5 対 16	広島東
福山・尾道・因島B	3 対 14	安芸高田・三次・庄原 府中・神石・御調世羅
佐伯・大竹B	17 対 1	広島南
呉A	16 対 5	東広島・竹原豊田B
安芸B	15 対 6	広島西



開会式の様子

第4回 支部長・副支部長会議

日時：10月18日(水)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

執行部から瓜生賢会長、能美和基副会長、若林大輔副会長、森本慎樹専務理事が出席した。始めに瓜生会長より「秋のメインイベントであるソフトボール大会も終わり、支部長・副支部長の先生方ご苦労様でした。本日は議題も多いようですので、慎重審議のほどよろしくお願いいたします」と挨拶があった。報告、協議事項は以下の通りである。

報告	9月14日	第2回吉島圏域在宅医療BCP勉強会	
中区支部	9月20日	中区ソフトボールチーム中締め会	
8月8日	第3回支部長・副支部長会	10月1日	中区健康よろず相談
8月17日	第1回吉島圏域在宅医療BCP勉強会	10月2日	健康ソフトボール大会連絡協議会
8月21日	吉島圏域多職種連携会議小委員会	10月5日	中区地域対策協議会同行研修会
8月26日	広島市歯科医療福祉対策協議会総会	10月12日	第3回吉島圏域在宅医療BCP勉強会
9月6日	幟町・基町圏域多職種連携会議小委員会	10月13日	中区医療・介護関係者研修会
9月8日	第20回災害時医療研修会		
9月12日	中区地域事例ネットワーク会議		

## 東区支部

- 8月 8日 第3回支部長・副支部長会
- 8月25日 東区認知症初期集中支援事業研修会
- 8月26日 広島市歯科医療福祉対策協議会総会
- 9月14日 認知症けあカフェ in 東区！～若年性認知症について語ろう会～
- 9月15日 フェイスネット「TRITRUS」講習会
- 9月21日 東区歯科相談日
- 9月29日 東区多職種連携の会～ひがしの絆～
- 9月30日 第1回東区支部会、懇親会
- 10月 2日 健康ソフトボール大会連絡協議会

## 南区支部

- 8月 8日 第3回支部長・副支部長会
- 8月25日 納涼会兼ソフトボール大会選手激励会
- 8月26日 広島市歯科医療福祉対策協議会総会
- 9月11日 段原包括圏域在宅医療・介護関係者研修会
- 10月 2日 健康ソフトボール大会連絡協議会

## 西区支部

- 8月 8日 第3回支部長・副支部長会
- 8月23日 西区災害対策委員会
- 8月24日 観音圏域医療と介護の連携会議

- 8月26日 広島市歯科医療福祉対策協議会総会
- 9月 9日 西区支部例会・ピアパーティー
- 9月20日 西区災害対策医療研修会
- 9月21日 3包括合同「医療と介護の連携会議」
- 9月28日 第21回己斐・己斐上圏域医療と介護の連携に関する意見交換会
- 10月 2日 健康ソフトボール大会連絡協議会

## 執行部

- ・年末における休日歯科救急医療実施医療機関の選定について
- ・令和5年8、9月分の休日診療保険請求における留意事項について
- ・その他

## 協 議

- ① 中 区
  - ・第40回健康ソフトボール大会総括
  - ・令和5年度原油価格・物価高騰に係る医療事業者補助金について
- ② 南 区
  - ・ソフトボールのありかたについて

# 支部だより

## 中区支部

### 令和5年度 中区健康よろず相談

日時：10月1日(日)午前10時

場所：「大手町平和ビル」

標記の会が開催された。このイベントは、中区地域保健対策協議会が主催しており、医師会をはじめ、歯科医師会、薬剤師会、看護師会が協賛しているものである。

今回も、歯科医師会は「オーラルフレイル」をテーマに、歯科相談をはじめ、舌圧計、口腔細菌カウント、口腔乾燥測定、オーラルディアドコキネシス(パタカ早口言葉)で、来場者の対応をした。



参加した前田羊一氏と波田佳範支部長

## 中区地域保健対策協議会同行研修会

日時：10月5日(木)午後1時

場所：河面内科医院(集合)

河面智之中区医師会副会長指導の下、標記の会が開催された。

この研修会の目的は、在宅医療に取り組む医療関係者を増加させることが喫緊の課題となっている中で、在宅医療の同行を通じてその増加を目指すと共に、多職種が互いに連携し、一体的にサービスを提供するチームとしての役割を理解することである。

当日はまず河面内科医院に集合し、訪問診療を予定している在宅患者の症例紹介がなされた後、患者のもとへ出向いた。患者は高血圧、糖尿病、認知症、癌などの疾患を有する18名の診療を見学した。移動中の車内では、保険算定のルールや訪問診療での苦い経験など色々興味深い話を聞くことができた。医師の訪問診療を術者サイドから見学する体験は初めてで、貴重な経験ができた。

今回見学したような患者に、どのような歯科診療の必要性があり、どのような治療が提供できるかを考える際には、多職種連携による「顔の見える関係づくり」が重要であることを再認識した。

この研修会には、中区支部より吉岡英将氏が参加した。



河面智之中区医師会副会長と吉岡英将氏

## 中区医療・介護関係者研修会 多職種で学ぶ高齢者虐待について

日時：10月13日(金)午後6時30分

場所：大手町平和ビル 5階「大会議室」

標記の会において広島弁護士会 保志明子弁護士による「高齢者虐待防止法について 虐待の早期発見・早期対応へ」、公益社団法人広島県社会福祉士会 虐待対応専門職チーム 三原千春社会福祉士による「早期発見・通報を目指す」という演題の講演が行われた。

虐待には身体的虐待、ネグレクト(放棄放任)、心理的虐待、性的虐待、経済的虐待があり、その多くは自宅や施設で発生しているケースが多く早期発見は難しいとのことだった。そこで少しでも虐待が疑われる場合は早急に市町村に通報することを勧められた。その後グループワークが行われ、実際にあった高齢者と養護者の虐待のケースを時系列から考察し、どのタイミングで通報に至るかを話し合った。しかし虐待、虐待疑惑を通報することは通報者を特定されることに繋がるため通報に至りにくい事実も語られた。

今回の研修会から虐待の早期発見の難しさや、虐待にも多くの種類や程度があり、想像以上に高齢者虐待が行われている可能性があることを知った。

なお中区支部からは波田佳範支部長と小島将督氏が参加した。



研修会の参加者



## 第40回 健康ソフトボール大会

日時：10月15日(日)午前9時

場所：「尾道市御調ソフトボール球場」

標記の行事が4年ぶりに開催された。

今回、中区支部は特例措置でAクラス昇格という荣誉を受けたが、最初から実力差は歴然としたものであり、試合時間内に「とにかく1イニングでも長くやろう。」ということを共通認識として、試合に臨んだ。

組み合わせ抽選は、開会式の会場となったグラウンドで、第1試合、強豪「東広島」との対戦となった。初回はピンチに陥るも、投手の地守宏紀氏の粘投と、内外野の堅守により無失点で切り抜けたが、相手もAクラス常連ということで、なかなかチャンスを作り出せなかった。ついに相手チームの打線がつながりはじめ、得点を重ねられた。3回裏に先頭打者の小島将督氏のヒットと好走塁で、無死3塁のチャンスを作り、ここ数年肉離れでチームに迷惑をかけている波田佳範支部長のヒットで、1点目を取ることができた。その後、相手に追加点を奪われ、コールドゲームの危機があったが、何とか得点を積み上げ、結果は2-11で、コールド負けの屈辱から逃れられた。

第2試合は、難敵「福山A」と対戦。初回から相手チームの打線がつながり、大量失点を重ねた。地守氏のランニングホームランで完封負けは逃れられたが、結果は

1-13だった。そして来年はBクラス降格にはなったものの、救急車で病院に搬送される負傷者を出さなかったことが、何よりの救いであった。

さて、今回我々中区チームが使用してきた「長嶋JAPAN」スタイルのユニフォームがこの度、生産中止になり、このユニフォームでの大会は今回が最後となった。来年は新ユニフォームで臨むこととなるが、心機一転新しい中区チームを披露できればと思う次第である。

追記

この度、他のチームにおかれては、アキレス腱断裂、左手首骨折と負傷者を出したと聞く。一日も早い快癒を願う次第である。



参加した中区支部会員

---

## 東区支部

---

### 令和5年度 第1回 東区支部会および懇親会

日時：9月30日(土)午後7時

場所：「安芸茶寮」

岩井敏之支部長率いる新執行部になって初めての東区支部会が執り行われ、尾崎昌康副支部長の司会進行のもと、緊張の面持ちでの新執行部挨拶、新入会員の浅野真弥氏のフレッシュな挨拶、白神葉子氏から会計報告などがされた。

引き続き瓜生賢会長より来賓挨拶を賜り、会長の乾杯の音頭で宴が始まった。懇親会には若林大輔副会長、森

本慎樹専務もご出席いただき、美味しいお料理に舌鼓を打ちながら、普段なかなか顔を合わせるこのできない先生方との話に花が咲いた。

閉会は山村剛氏の本締めで景気よく締めていただき、盛況のうちに閉会した。



(左)懇親会の様子(右)挨拶をする瓜生賢会長

### 第40回 健康ソフトボール大会

日時：10月15日(日)午前9時

場所：「尾道市御調ソフトボール球場」

4年ぶりに標記の行事が広島県歯科医師会主催で盛大に開催された。

当日は秋の爽やかな空気の中、普段はなかなか見られない緑を満喫しながらの大会となった。東区からは12人が参加し、「80%の力で、怪我をしないこと！」を第一目標に出せる力を80%弱出して2試合の死闘を繰り広げた。

結果は1勝1敗。しかしメンバーは「やり切った」という満足した顔で帰途についた。



参加した東区支部会員

## 南区支部

### 第40回 健康ソフトボール大会

日時：10月15日(日)午前9時

場所：「尾道市御調ソフトボール球場」

山崎健次広島県歯科医師会会長の開会の挨拶の後、三原市歯科医師会の海田博文会長の選手宣誓が行われ大会が開始された。

大会には竹田茂支部長が監督として参加、伊藤良明氏が選手として参加、近藤令依氏、山本真理子氏が応援にて参戦してくれた。選手は四人の若い先生が初参加し、皆意気揚々と大会に臨んだ。試合の方は抽選の結果1回戦で呉Aチームと対戦になった。その試合は50分という時間制限で逆転サヨナラで惜敗した。2回戦は佐伯・大竹Bチームとの対戦になった。結果は1-17の惨敗だ

った。来年は更に結束力を高め、一つ勝とうとみんなで誓って大会の一日を終えた。



参加した南区支部会員



## 令和5年度 南区認知症初期集中支援事業研修会

日時：10月19日(木)午後7時

場所：南区役所別館 4階「大会議室」

標記の会が開催された。この研修会は、広島市南区医師会が広島市からの委託事業として認知症初期集中支援事業を行っており、その事業の周知、並びに、南区における認知症の地域連携の充実化のために企画したものである。

南区の医師、歯科医師、訪問看護師、介護支援専門員等多職種が参加した。前半は福島太郎松田病院医師が「南区認知症初期集中支援チームの振り返り」と題して講演を行った。講演では、認知症初期集中支援チームの業務内容の説明があった。

その後、認知症を伴ったアルコール依存症の方への在宅支援として、実際の事例に対して8チームに分かれてディスカッションを行い、グループごとに発表を行った。

最後に加賀谷有行瀬野川病院医師が「依存症を持つ人々に対する地域生活支援」と題して講演を行った。

認知症を伴ったアルコール依存症の方への取り組みは、非常に困難であることが分かり、携わっておられる方々の大変さが身に染みて分かる研修会であった。

なお、南区支部より芥川桂一氏、土屋崇文氏、中川誠氏、山本眞理子氏が参加した。



研修会の様子

## 西区支部

### 西保健センター主催「健康づくりサポートセミナー」

日時：9月1日(金)午後1時30分

場所：コジマホールディングス西区民文化センター 3階「大会議室」

標記の会が開催された。広島市西区役所厚生部地域支えあい課地域支援第二係の門出野の花保健師による開会挨拶の後、「お口から守るからだの健康」と題し、岡田浩幸地域歯科保健部委員が、11名の西区住民に対して講演を行った。

講演前半、歯周病は細菌感染症であり、生活習慣病の1つであることが述べられた。歯周病を予防することは動脈硬化、糖尿病等、他の生活習慣病に大きな影響を与え、全身の健康に寄与できることを示した。自覚症状の少ない歯周病の予防には定期健診を受けることが重要であることを説明し、かかりつけ歯科医院をもち、お口の中から体の健康管理を行うことを勧めた。

後半では受講者が地域の高齢者であったことから、オーラルフレイルについて説明を行った。お口の機能を保つことにより健康寿命を延ばすことにつながることを示

し、予防、改善方法を解説した。また、オーラルフレイルは窒息や誤嚥性肺炎のリスクを高めるため、早期の改善が必要であることも説明した。舌圧の機能訓練ができるペコパンダの説明、配布も行った。

講演の後、木元はづき歯科衛生士によるブラッシング指導とお口の体操が行われた。前半は歯ブラシの当て方や清掃補助器具の必要性、使い方を説明し、後半はオーラルフレイルチェックを行い、予防、改善のためのお口の体操を実演した。

質疑応答では、デンタルフロスの使い方や、歯周治療にかかる通院回数、舌苔はどこまで除去したら良いのか等、多くの質問が挙がり地域住民の口腔内への関心の高さが伺え、本講演は盛況のうちに終了した。

本会では、今後も地域住民との関わりをもち、地域歯科医療に貢献できる活動を続けていきたいと考えている。



講演の様子

### 令和5年度 3包括合同「医療と介護の連携会議」

日時：9月21日(木)午後6時30分

場所：庚午包括圏域「アラキヘルスケアプラザ」

井口台・井口包括圏域「鈴が峰公民館」

古田包括圏域「古田公民館」

標記の会が、庚午、井口台・井口、古田の3地域包括支援センター合同で、3会場合計210名の参加者により開催された。

佐藤悟朗草津病院院長の開会挨拶の後、隅田伸二隅田耳鼻咽喉科医院院長により「最後まで口から食べるためにできること～『むせ』など飲み込みに不安が出始めた頃のオーラルフレイル～」と題した講義が行われた。内容は、嚥下障害の予防と早期発見のために1.摂食・嚥下に関わる解剖学的構造 2.摂食・嚥下のメカニズム 3.摂食・嚥下障害の診断・検査 4.摂食・嚥下障害の予防について(嚥下おでこ体操、顎持ち上げ体操、シャキア体操、口すぼめ体操、ペットボトル呼吸訓練、アンカー機能強調嚥下訓練)であった。その後、①講義からの学びや気づき②それぞれの立場から取り組めることをグループワークで話し合った。グループワークの発表の中で林優美氏から「施設に入所している人は、すでに嚥下困難な方が多く、機能回復に力を入れるよりも食形態を今の機能に合わせて食べてもらうことが多いのが現状です。できればフレイルの前段階であるオーラルフレイルに早く気づき、嚥下障害予防ができればよいと思う。普段から、かかりつけ歯科医を作り、うがいや飲み込みが少しおかしいと思ったら口腔機能低下を疑い、受診をしてほしい」という話があった。

隅田院長からまとめの中で「嚥下機能低下防止のための様々な運動を勧めるにあたって、この運動が嚥下のどの相のどういうところを強化するために行っているのかを理解して勧めてもらえれば効果もかなり上がってくると思う。また、食形態を決める際には嚥下内視鏡検査(VE)を行うとよい」という話があった。

藤井辰義荒木脳神経外科病院外科部長の閉会挨拶に続き、行廣律江広島市西区厚生部地域支えあい課地域支援担当課長からも閉会挨拶があった。その中で「広島市で要介護1～5以外の65歳以上を対象にした調査(令和5年3月報告)で24.8%(男性23.2%、女性26.0%)が口腔機能低下リスク該当者であった。西区では今年度からフレイル状態にならない為の取り組みを医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、リハビリテーションの専門職、地域包括支援センター、行政など多職種が連携して着手している。実際には、フレイル状態を早く見つけてチェックをしてリスクの高い人は必要な支援を受けるという仕組みを作っている。」との話があった。

西区支部からは庚午圏域に平尾慶太支部長、濱岡代枝氏、林氏の3名、井口台・井口圏域に豊田育星氏1名、古田圏域に浅川敏文氏、森川英彦氏2名の計6名が参加した。

## 令和5年度 西区支部例会及び研修会

日時：10月27日(金)午後7時30分

場所：広島市歯科医師会「大会議室」

標記の会が平尾慶太支部長の挨拶とともに開催された。

支部例会では各報告(9~10月の出務、支部長・副支部長会、年末救急医療実施医療機関の選定、ソフトボール大会の結果、第39回西区民祭り、忘年会、新規開業予定者など)があった。

研修会では天間裕文県歯会医療管理部業務執行理事をお迎えして、「トラブルを防ぐために」という演題で講演いただいた。

講演は医療事故や医事紛争に備えて、医師賠償責任保険へ加入することの重要性の説明から始まり、患者とのトラブルの対応や未然に防ぐための注意事項について、過去に歯科医師会宛に連絡のあったクレーム相談の内容を交えてご教示いただいた。

昨今はインターネットなどで医療行為だけでなく、保険診療の算定についても簡単に調べることができ、領収書や明細書を見た患者が不信に思い、歯科医師会に問い合わせがあり、トラブルへと発展する事例があるため、必ず算定要件に沿った保険診療を行うよう注意喚起があった。また5月から新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行したことで、感染者が患者となる場合に応召義務が発生するため、受診時の対応についての説明もあった。

続いて医院で起こるスタッフとの労務トラブルに関して、労働時間や年次有給休暇や退職解雇など実際に起こった事例を交えて、トラブル対応や事前に取り決めておくことについて理解できた。また最新雇用ハンドブックに詳細が記載されており、スタッフとの間で交わすべき契約書などの書式や文章例を活用することで、スタッフとの多くの労務トラブルを防ぐことができる。

講演終了後は質疑応答もあり、盛会の内に閉会した。

次回西区支部会・忘年会を12月9日(土)18時30分から行う予定なので奮ってご参加下さい。



講演をした  
天間裕文県歯会医療管理部業務執行理事

## 令和5年度 第21回 己斐・己斐上圏域 医療と介護の連携に関する意見交換会

日時：9月28日(木)午後6時30分

場所：広島市西区地域福祉センター 3階「大会議室」

標記の会が己斐・己斐上地域包括支援センター主催により、「チーム己斐」を作るべく、医療機関、介護サービス事業所、地域団体の中で顔の見える関係づくりを目指して、日常生活圏域における医療・介護にかかわる多職種や地域の方々の参加により開催された。70人弱の参加者であった。

河原克行己斐・己斐上地域包括支援センター長による開会挨拶の後、講演の前に今現在のACP(Advance Care Planning「人生会議」)のイメージをグループワークで話し合った。

その後、石田哲西区医師会理事(石田内科副院長)による「ACPについて 在宅医療と看取り」と題した講演が

行われた。講演を聴いて、在宅での看取りでは医療と介護が連携してしっかりとしたサポート体制をとることや信頼される医療者・介護従事者となること、さらに地域包括ケアシステムを理解して地域包括支援センターを活用することが大切であることが理解できた。さらに、症例報告を通して「西区在宅あんしん連携システム(つながるんじゃけえ)」を利用すると多職種と密に連携できる実態を知ることができた。

次に、講演を聴いてACPのイメージがどのように変わったかをグループワークで話し合った。

グループワークの発表で、「講演を聴く前は漠然としたイメージであったが、講演を聴いた後は日ごろからの



コミュニケーションにより ACP に必要な情報を聴きとっていくことが大切である」「家政婦さんを頼む場合かなりの実費が必要になり驚いた。」などの発言があった。

まとめとして、石田理事から「ACPをいざやろうと思ってもなかなかできない。普段から相手を認め、傾聴し、信頼関係を築くためのコミュニケーションを実践するこ

とによりその人の人生観や価値観を把握することが重要である」との話があった。

最後に、今日の司会をされた、己斐・己斐上地域包括支援センターの中尾佑季氏の閉会挨拶により終了となった。

なお、西区支部からは、平尾慶太支部長が参加した。

## 第 40 回 健康ソフトボール大会

日時：10月15日(日)午前9時

場所：「尾道市御調ソフトボール球場」

西区支部選手は広島県歯科医師会主催「第40回健康ソフトボール大会」に出場した。

試合経過

第一試合 対 広島東チーム

佐久間光俊投手の好投もあり、序盤は1点を争う好ゲームとなった。しかし3回の表に広島東打線が爆発。猛攻を抑え切れず、その回の裏の攻撃でも追いつくことはできなかった。結果は、5-16であった。

第二試合 対 安芸Bチーム

藤田友昭投手の緩急をつけたピッチングと西区支部精鋭による強力打線、さらに堅い守りで進んだ試合は、初

回から1点を争う好ゲームとなった。しかし、藤田友昭投手のピッチングを攻略した安芸Bチームの猛攻にあい、終盤に大量失点をしてしまう。その回の裏の攻撃でも追いつくことはできなかった。結果は、6-15であった。

スポーツの秋を満喫する事を目的とした4年ぶりの今大会で、1人の怪我人も出さず、心地いい汗をかくことの出来た素晴らしい一日であった。反省会も大いに盛り上がり、選手一同、来年の一勝に向けて確固たる決意を胸に帰途についた。



(左) 参加した西区支部会員 (右) 大会後の懇親会に参加した西区支部会員



## インボイス制度について(～歯科医院・「渡す側」編～)



平田誠副委員長

今回はインボイス制度について、一般的な考え方を記載しました。

では、「我々歯科医院での対応は具体的にどうしたらよいのか？」を2回に分けて説明します。

課税事業者としてインボイスを「渡す側」と、ディーラーやラボなどの課税事業者からインボイスを「受け取る側」で対応が異なります。まず歯科医院が適格請求発行事業者、つまりインボイスを「渡す側」になる必要があるかを考える必要があります。

### ①免税事業者の場合

自費診療収入と物販の合計収入が年間1,000万以下の歯科医院では「免税事業者」となり、インボイス制度の登録をする必要はありません。

### ②課税事業者の場合

自費診療収入と物販の合計収入が年間1,000万を超える歯科医院は、消費税の「課税事業者」となるため、登録申請を検討しましょう。登録申請をしたところで、納税額が負担増になることはありません。

では、どんな時に何を準備したらよいのでしょうか？実は普段の診療時にインボイスを渡す(求められる)ことはほとんどありません。レアケースですが、例えば芸能事務所に所属している芸能人が、歯科治療費を事業経費として計上したいという場合には、「インボイス登録のある領収書が欲しい」と言われるかもしれません。

そういった場面で慌てないように、まずはレセコン会社に相談しておくといいますがインボイス対応が遅れているのが実情なので、手書きの領収書を用意しておきましょう。お店で売られている複写式の領収書はインボイス対応の物が出てきています。インボイス領収書には、医院名、登録番号、治療年月日、治療内容、税率、税額を明記し、医院で7年間保管する控えも作成する必要があります。

こうした流れを受付スタッフに周知しておく、実際に求められた時でも冷静に対応できるはずですよ。

今回は歯科医院が適格請求発行事業者となり、課税事業者としてインボイスを「渡す側」の立場で説明しました。

次回は、ディーラーなどの課税事務所からインボイスを「受け取る側」での対応について説明します。

参考文献：アポロニア 2023.9月号

国税庁の特設サイトホームページ

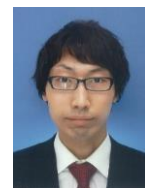


## 学術部

### ADHD/発達障害について考える

最近、子どもの発達障害が増えていると言われています。学校健診に行った際に先生方から特別支援学級が増えていると聞きますし、歯科受診する子どもの中にも親御さんから「発達障害があります。」と、予約の際や初診時での医療面接で言われることも多く感じます。これからも増えていくことを考えると、一度、ADHD や発達障害とは何か？そしてその特性や治療における注意点を学ぶ必要があると感じました。

まず発達障害とは、発達過程に気づかれる認知や行動の障害の総称を示します。その中にADHDは含まれており、特徴としては「不注意」、「多動性」、「衝動性」の3つです。この3つの特性を知っていることは、診療を行うことで



大塚道征委員

とても重要です。ADHD は単独で発症する割合は 3 割とされています。併存する疾患としては、ASD や限局性学習障害、発達性協調運動症、てんかん、チック症、強迫症などがあります。また、二次的な合併症として、反抗挑発症や素行症、不安症、うつ病を発症することもあります。そのため、ADHD の子どもの診療を行う際は、これらの併存症や合併症を踏まえ、発達障害全般についての知識が必要となるわけです。

以上のことを理解した上で治療について3つに分けて考えます。

1つ目は、診療室や受付、待合室の構造化と子どもへの対応について。具体的には、物理的・視覚的に刺激を減らし、絵カードを用いて治療の流れを予測させてあげるということです。

2つ目は、歯科診療時の行動療法とアタッチメントについてです。これは、子どもが自ら能動的に適切な行動を取れるように支援し、TSD(Tell-Show-Do)法や行動形成法などにより不安を軽減させてあげるということです。

そして3つ目は、感覚統合についてです。感覚統合とは、「脳に入ってくるさまざまな感覚情報を、目的に応じて整理し、秩序だったものに構成すること」と、アメリカの作業療法士である AJ Ayres が定義しています。主に視覚・聴覚・触覚・固有受容覚・前庭覚といった感覚を対象としてアイコンタクト(視覚)や治療前に歯肉マッサージ(触覚)を行うことも良いでしょう。

現在は子どもだけではなく大人の ADHD、発達障害も増加しているようです。子どもとの共通点も多いようですが、大人ならではの注意点などもあるようです。

今回発達障害や ADHD について調べてみましたが、学ぶことがたくさんありました。また、私にとっては、子育ての参考になる点も多く感じました。子どもの来院が多い先生方には当たり前のように実践していることかもしれませんが、私にとってはとても学ぶことの多いテーマでした。少しでも先生方の手助けになればと思います。

## 参考文献

「子どもに優しくなれる感覚統合 子どもの見方・発達の捉え方」石井孝弘 学苑社 2013

「最新図解 ADHD の子どもたちをサポートする本」榊原洋一 ナツメ社 2019

「かかりつけ歯科医院のための ADHD /発達障害入門」白瀬敏臣 加藤雄一

株式会社デンタルダイヤモンド社 2023

---

---

## 厚生部

---

---

厚生部では広島市歯科医師会会員紹介というテーマで毎回1名の先生に焦点を当て、先生の思いの丈をざっくばらんに語っていただき、そのお話を記事にさせていただく企画を行っております。今後、先生方のもとへの取材依頼のご連絡をさせていただいた折には、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



八谷文貴委員

今回は中区八丁堀で八丁堀歯科医院を開業されておられます、前田英治先生にお話をお伺いしました。前田先生はボウリングに釣りにと、プロ顔負けの趣味をお持ちであり、そのお話を是非お伺いしたいと考え、お声かけさせていただいたところ、ご快諾いただきました。

それではよろしくお願いいたします！

### ☆大阪歯科大学での学生生活と歯科医師としての軌跡☆

昭和40年4月に大阪歯科大学歯学部に入學し、旧牧野キャンパスで学生生活をスタートさせました。当時は約200人の同級生がおり、楽しい学生生活でした。5年生になると天満橋のキャンパスに移り、その頃からスキー部に所属していました。冬になるとスキー部の部員と長野県白馬村の八方尾根までスキーをしに行っていました。当時を振り返ると楽しい思い出が多いのですが、捻挫などの怪我は絶えませんでしたね。今でも覚えている少し苦い思い出は、直滑降の練習中に転倒し、気がついたら脚





から大量に出血していたことです。新しいスキー板だったのでよく切れたんだと思います。その後無事に歯学部を昭和46年の3月に卒業し、歯科医師となりました。

卒後は多くの先生にご指導をいただきながら研鑽を積み、昭和55年4月1日に中区八丁堀にて、八丁堀歯科医院を開業しました。開業当初から多くの患者さんに来院してもらい、感謝してもらいました。学生時代から勉強してきたこと、卒業してから勉強したことなど、自分の治療が間違っていないんだというのを実感出来た、そういういい時代に開業出来て本当に良かったです。

## ☆プロ顔負けのボウリングテクニックとボウリングが繋いでくれた全国の先生との交流☆

歯学部の6年生の時からボウリングを始め、広島に帰ってからも有志の先生方と楽しむようになりました。最近では週に3日、広島パークレーンで練習を行っており、日によってメンバーは違いますが、歯科医師の先生方に加え、プロボウラーの方ともボウリングを楽しんでおります。ベストスコアは300で、今までで14回パーフェクトを出し、この5年間で12回のパーフェクトを出しています。ボウリングは決して難しい競技ではなく、力を抜いてボールを持ち、目標のポイントに向かって置くように投げればいいだけです。体力維持と健康のために今でも自宅から歯科医院まで歩いていますが、その成果が出ていますかね。

現在では全国のボウリングを愛する歯科医師の親睦と交流の場として、全日本歯科医師親善ボウリング大会が毎年開催されております。本年度は10月8日と9日に佐伯区五日市のボウリング場に約140人の歯科医師の先生方が集まり、盛大に大会が開催されました。私は過去に3回ほどシニアの部で個人優勝していますが、今回は残念ながら力およびませんでした。

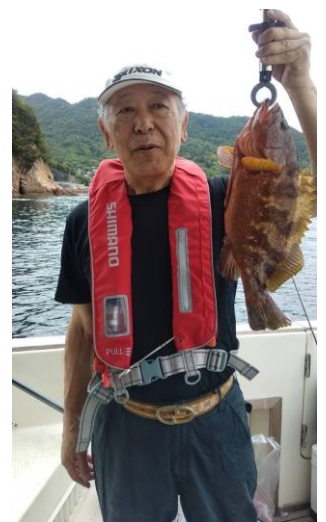
ボウリングをやっていてよかったことの一つに、全国の先生方との交友関係が広がったことがあります。大会のお誘いをいただき全国を巡ることも多々あり、大会の前夜祭で地元の美味しいお酒と料理をいただきながら交流を深めることが何より楽しいですね。食べる量は減ってきましたが、お酒を飲む量は相変わらずです。それでも毎回2日酔いもせず、翌日にはいつも通りボウリングを楽しんでいますね。



## ☆休日の余暇を楽しむ釣りの時間と歯科医師以外の友人との交流☆

昔は船を家の近くに係留していたので、天気の良い日曜日には朝から釣りに行っていたものです。ある時メバルを20匹ほど釣って帰ったのですが、あまりの多さに下の娘に、「もうメバルの煮付けは嫌だ!」と言われたのを覚えていますね。娘が嫌がるので妻が刺身にしてくれたのですが、あまりに小さいメバルだったので、今度は妻が捌くの嫌がっていました。時にはカワハギを釣って帰ったこともあり、これには妻も大喜びで捌いてくれました。最近では80センチオーバーのサワラを釣ったのですが、これは大きすぎて、腹いっぱい食べたのがいい思い出です。

釣りを通しては歯科医師以外の方々とも交流が広がり、歯科医療とは別の話をできる友人たちと過ごす時間も貴重な息抜きになっています。



## ☆若手歯科医師に向けて☆

開業当初から患者さんのために診療するという姿勢でやってきたおかげで、今でも多くの患者さんが通い続けてくださっています。歯科医院が増えて大変だと言われる今でも、ありがたいことにどうかなるかなと思いつつやっています。ですから私が今思っている若い先生方に伝えたいことは、診療も趣味も患者さんのために自分のために、思いっきり楽しんでやりなさいということです。そうすればきっと大丈夫です。私自身もこれからもどうかなるんだと思いつつ、診療に趣味に、楽しんでやっています。まだまだ引退なんて考えていませんよ。

前田英治先生、今回は貴重なお話をありがとうございました。皆さまいかがだったでしょうか。診療に趣味に、何事にも本気の前田先生には、これからもご活躍いただき、若手の会員もそれを見習って活気ある歯科医師会にしていければと思います。

次回の広島市歯科医師会会員紹介もご期待ください！

～厚生部からのお知らせ～

先生方の趣味に関する記事を募集しております。先生ご自身のこだわりの趣味について、広島市歯科医師会だより1ページ分、ご披露いただけますと幸いです。奮ってご応募ください！

## 地域歯科保健部

### ～ハハ姉妹の学校ニュース《7時間目》「歯科技工士さんのお仕事」～

**歯科技工士さんのお仕事**

デジタル版《7時間目》

広島市歯科医師会キャラクター「ハハ姉妹」

歯科治療は歯医者さんだけではなく色々な職業の人達の協力で行われます。その中でも今回は歯科技工士さんのお仕事について解説します。

- ①詰め物、かぶせ物  
虫歯を取ったり、となりの歯を支えるためだったり治療のために歯医者さんが歯を削ります。技工士さんはかたどったものを預り、そこから詰め物やかぶせ物を作ります。
- ②入れ歯  
残せない歯を抜いた後、歯のない部分を補うために入れ歯を作ります。
- ③マウスピース、矯正装置など  
スポーツ選手が使うマウスピースや、矯正治療で歯を動かす装置なども作ります。

**歯医者さんからのメッセージ**

事故など歯が傷つくことはあるものです。そんな時歯科技工士さんは心強い存在です。虫歯や歯周病が原因でお世話にならないよう歯科医院で定期的に診てもらい8020を目指しましょう。

光山素夫先生

**8020**  
80歳になっても  
20本以上自分の  
歯を保とう

活用法の一例。顔写真とお名前はご自由に改変ください。

※今回は地域歯科保健部 光山素夫先生他が作成いたしました。

ハハ姉妹学校ニュースは、患者さんへの説明の為に作成しております。

PDF は下記 URL または QR コードよりダウンロードください。

<http://www.hiroshima-da.com/hahanews>



# 各部からの報告

## 総務部

### 広島市医療安全推進協議会より 「こんな医療トラブルが起きています」

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相談事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例：治療中の偶発症の発生への対応について

治療中に予期していなかった炎症反応が起き不安な状況である。症状と治療の因果関係と今後の治療について相談したい。

(センターの対応)

再度、担当医の先生と現在の状況と今後の治療方針について相談するように促した。

(コメント)

治療に対して起こりうる偶発症を事前に説明し、起きた際は状況を患者さんにわかりやすく説明し、今後の治療方針について話し合うように心がけましょう。



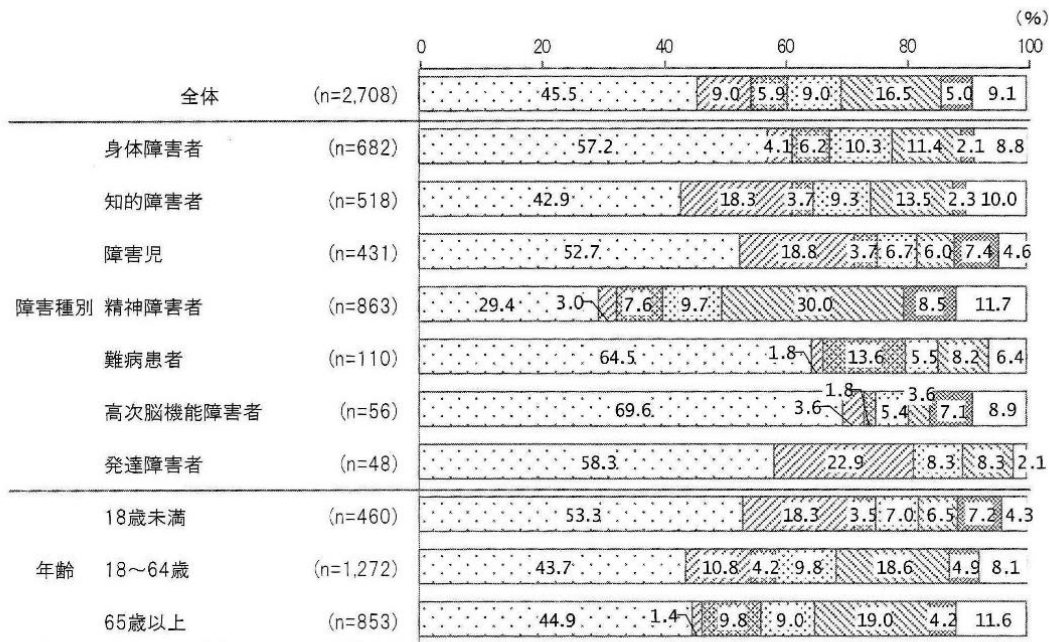
## 地域歯科保健部

### 障害福祉等に関するアンケート調査 調査結果報告について

広島市障害者計画、広島市障害児(者)福祉計画の策定にあたり、障害福祉行政や障害福祉サービス等に対するニーズ等を把握するため、標記調査が行われた。調査対象は広島市在住の手帳等所持者の中からの無作為抽出者、及び医療機関や障害者団体とした。

本調査のうち、歯科に関する設問を以下に示す。

問26 あなたは、この1年間に歯の治療や歯科健診を受けましたか。(○は1つ)



- 市内または近隣の歯医者に行っている
- 障害者専門の歯医者に行っている
- 訪問歯科診療を受けている
- 治療やケアをしたいができていない
- 特に必要ない
- その他
- 無回答



全体のうち「市内または近隣の歯医者に行っている」が45.5%と最も多く、「障害者専門の歯医者に行っている」9.0%、「訪問歯科を受けている」5.9%であった。この結果から障害児(者)の多くが近隣の一次歯科医療機関を受診していることがわかった。

その他の調査結果については広島市ホームページを参照いただき今後の障害者福祉に役立てていただきたい。



「障害福祉等に関するアンケート調査」

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/212719.pdf>

## 広 報 部

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事の **QR コード** をスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

### 医療機関等でのキャッシュレス支払いに伴うポイントは当面認められる

#### —— 1%超の付与には個別指導も

<https://media.shaho.co.jp/n/n4ffc18089d15>

厚生労働省保険局医療課は、9月29日に事務連絡「医療機関等における一部負担金のキャッシュレス支払いについて」を発売し、クレジットカードや電子マネーによるキャッシュレス支払いについて、患者の利便性向上、医療機関等における事務の効率化の観点から差し支えないことを明確化した。一方で、キャッシュレス支払いに伴うポイント付与についてあくまでも当面やむを得ないものとして認めることを改めて周知した。

ただし、ポイントを用いて一部負担金の軽減を可能とすること、一部負担金の1%を超えてポイントを付与すること、ポイント付与を大々的に宣伝、広告することを認めず、これらに該当する医療機関等には、口頭による指導を行い、その上で改善が認められない場合、必要に応じ個別指導を行うこととしている。



#### 考察

歯科医院におけるキャッシュレス支払いは、決済手数料が発生することや入金が遅いことなどのデメリットがあり、あまり普及していませんでしたが、近年、コロナ禍において非接触による感染対策の観点から導入された先生方も多いと思います。キャッシュレス支払いは他にも、受付業務の効率化や会計ミスの削減などのメリットもあり、さらに患者のニーズが高まっており、政府も推進しています。しかし、保険診療の支払いで今回示されたキャッシュレス支払いに伴うポイント付与などのことは、疑問点ではありましたが。

すでに導入されている先生方もこれから導入を検討されている先生方も厚生労働省の注意事項を把握した上で使用しましょう。



柄博紀委員

### 歯の治療情報をデータベース化へ、災害時の迅速な身元確認に活用…厚生労働省

[https://www.yomiuri.co.jp/medical/20230827-](https://www.yomiuri.co.jp/medical/20230827-OYT1T50168/)

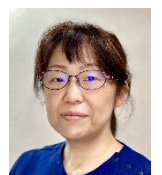
[OYT1T50168/](https://www.yomiuri.co.jp/medical/20230827-OYT1T50168/)

大規模災害や事故が起きた際、遺体の身元確認に活用するため、厚生労働省は今秋から歯科診療情報のデータベース化に乗り出す。2011年3月の東日本大震災では、遺体の身元を割り出すのに役立ったが、体制の不備などで作業は難航した。このため全国的なデータベースを整備し、身元確認を迅速に進められるようにする。レセプト(診療報酬明細書)を使い、数年以内の実用化を目指す。



#### 考察

遺体の身元確認が少しでも早くなることは残された人々にとって重要だと思います。患者の診療情報を外部に提供するには個人情報保護法に基づき、患者本人の同意が必要になるため、実用化に向けた課題を整理し、必要に応じて法整備なども検討するとのことでした。



小林裕子副委員長

## 【最新版】子どもの歯磨剤、正しい用法・容量は？0歳～年齢別の推奨量を現役歯科医が解説！

<https://withonline.jp/with->

[class/education/topics-parenting/QCz9I](https://withonline.jp/class/education/topics-parenting/QCz9I)



2023年に、フッ化物配合の歯磨剤の推奨される利用方法が変更された。生え立ての永久歯や乳歯はとても柔らかく虫歯になりやすく、予防にはフッ素が欠かせない。しかし、使用法を間違えたらと不安に思い、しっかりと使用できない親御さんも多く見かける。国際基準を参考に日本の4つの歯科学会が合同で作成した年齢別の歯磨剤推奨量は以下ようになる。

- ・2歳まで・・・フッ素濃度900～1000ppm、米粒程度
- ・3～5歳・・・フッ素濃度900～1000ppm、グリーンピース程度
- ・6歳～成人・高齢者・・・ハブラシ全体にフッ素濃度1500ppm  
うがいは少量の水で1回ゆすぐ程度でよい。

考察

近年歯磨剤は各メーカーから様々なものが販売され、患者から質問を受けて困ることもあります。特に、歯磨剤の使用量は10年くらい前は少量でハブラシで物理的にプラークの除去をしっかりとしましょうと教わった気があるのですが、今ではハブラシ全体につけて歯磨剤の効能にも頼る部分が大きくなったと思います。数千円する高級歯磨剤も存在し、果たしてどこまで効果があるのかは疑問ですが、患者が口腔ケアに興味を持つきっかけになれば喜ばしいことです。もうご存じの方も多いかと思いますが、歯磨剤の使用量について聞かれた際は、是非参考にしてください。



永井亮委員

## 「補綴歯科専門医」を広告可能に 厚生労働省

<https://www.whitecross.co.jp/articles/view/2875>

厚生労働省は10月12日、「医業若しくは歯科医業又は病院若しくは診療所に関する広告等に関する指針(医療広告ガイドライン)等について」の一部改正について発表した。このことにより、日本歯科専門医機構が認定する基本的な診療領域に係る歯科医師の専門性資格として「補綴歯科専門医」が広告可能となった。



考察

より高い専門性を求める患者さんにとっては、かかりつけ歯科医を選ぶ際の指標となることが予想されます。その一方で、「補綴」という名称に馴染みのない人には、読み方も含めてチンプンカンプンかもしれません。



三保浩一郎委員長

## 4度の手術を経験、中学2年生が“私の個性”病気を自由研究「嫌な経験も私にしかできない体験だから」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8814acc5efdf130bd493aae495d6381ac6701e82>

あの子の鼻、変じゃねえ？同級生からの心なき言葉は、“病気に対する無知”が理由だと気が付いた。その気が付きが、当時中学1年生だった故東来宝さんに、自身の病気「口唇口蓋裂」を自由研究のテーマとして起用するキッカケと行動力を与えた。生後2か月から、4度の手術を経験。幼い頃から悩み苦しんできた彼女は、「嫌な経験も私にしかできない体験だから」とすべての経験を“力強さ”に変えていた。



考察

口唇口蓋裂という先天性疾患のお子さんは500人に1人の割合で生まれてきます。原因は不明であり、自分の子供や孫に発症して生まれてくる可能性もあります。原因不明なだけに多くの患者さんやその親御さんはこの疾患に悩まされることが多いのが現状です。見た目や構音異常によるいじめや偏見を少しでもなくすために、自ら自由研究の題材にした彼女の行動力は素晴らしく、我々歯科関係者ももっと世の中の人に認知させる必要があると感じました。



小島将督理事



**【公式】広島市歯科医師会広報 チャンネル**  
ぜひご視聴ください。チャンネル登録をお願いします。

9月6日放送分

「健康増進に役立てたい歯科医師会の事業」

広島市歯科医師会 瓜生賢氏

<https://youtu.be/ScwbXW-wYAg>



9月20日放送分

「お口のお悩み相談」

広島市歯科医師会 森本慎樹氏

<https://youtu.be/4JFY4yu6VgI>



**FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」**



FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

11月1日放送分

「スポーツマウスガードの役割」

広島市歯科医師会 土屋崇文氏



スポーツの秋です。今回のテーマはスポーツマウスガード。相手に激しく接触するコンタクトスポーツで使われます。けがをしやすい体の部位の話などを交えながら、なぜスポーツマウスガードを着けるのかを紹介します。楽しく安全にスポーツができるよう、広島市歯科医師会の歯科医師、土屋崇文さんが話します。

11月15日放送分

「歯磨きを怠った結果は」

広島市歯科医師会 谷巖範氏



私たちの身の回りにはチョコ、アイスなど、甘くておいしいものがあふれています。毎日寝る前に甘い物をたくさん食べて、親の忠告を無視して歯磨きをせずにそのまま寝るとい生活をして10年続けたある子ども。ある日突然歯が痛くなって、勉強どころではない状態になりました。この事態を目の当たりにした広島市歯科医師会の歯科医師、谷巖範さんが歯磨きの重要性を説きます。



先月、4年ぶりに県歯会主催の健康ソフトボール大会が開催されました。コロナ前よりもチーム数、選手数は少し減りましたが、多くの会員が御調町のソフトボール球場に集い、日頃の練習の成果を競いました。この大会も今回で第40回となるそうです。私が入会したころは、主管は各郡市会が毎回持ち回りで会場も主管郡市会の管内の会場が設定されていましたが、御調町の球場があまりにも立派且つソフトボール専用球場ということで、この場所での固定開催となって20年くらいになるのではないかと思います。

多くの会員が楽しみにしている健康ソフトボール大会ですが、ここ数年は会員の高齢化等の問題もあり、選手が集まらず出場を辞退したり、合同チームを組んだりして徐々に参加者は減少してきているものの、いまだに広島県では最も多くの会員が集うイベントであることに変わりはありません。

誰もが手軽に楽しむことのできるソフトボールですが、今年は4年ぶりということもあってか、例年よりも怪我人が多かったのは少々残念では

ございました。他の郡市会の選手は骨折して救急搬送されたりもいたしました。私は以前より、健康増進のための大会で怪我をして健康を損い、日々の診療に影響がでるようでは本末転倒ではないか、と考えており、広島市においても現在の支部ごとの4チーム編成はもう限界ではないかと感じていました。もちろん、一生懸命プレーしてこそそのスポーツですし、そこに怪我は付き物です。自ら手を上げて大会に参加し、一生懸命プレーした結果の怪我であれば納得もできましようが、人数が足りないから、と半ば無理やり駆り出された人が怪我をしたりすれば、それこそ大会の開催意義を脅かす事態になりかねません。そこで、来年からは無理のないチーム編成をすべきではないかとずっと考えておりました。

しかし、試合後の各支部の懇親会にご挨拶に伺わせて頂いた際、そこにあったのは会員の先生方の笑顔でした。みんな練習に励み、試合で全力を出し切り、声を枯らして応援したことで得られる一体感というか、疲れた一しんど

会長コラム (第5回)

# 笑門來福 健康

瓜生 賢

いーと言いながらもビールを片手に笑い合っておられる姿を拝見すると、支部として活動していく上でのこの大会の持つ役割は大きなものがあるのだなと実感いたしました。ソフトボールの代替としてボウリングやゴルフの大会も考えられますが、やはりチームスポーツであるソフトボールに代えるのは難しいでしょう。どうすればこの大会が多くの参加者を得て、楽しく、そして会員の健康増進に資するものであり続けることができるのか、真剣に考えていく時期なのだろうと思います。

まだ大会は終わったばかりですが、来年に向け、支部のみなさんの意見を十分伺いながら、そして主催者である県歯会とも協議しながら、この大会をより良いものにしていきたいと思っています。

# 会員ひろば

## 新入会員紹介



坂上泰士

広島市歯科医師会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
この度、広島市歯科医師会に入会させていただきました坂上泰士と申します。

私は、平成21年に広島大学を卒業後、卒後臨床研修を修了し、広島大学大学院(口腔外科専攻)に進学致しました。大学院修了後は、広島大学病院顎・口腔外科にて勤務しておりました。その後、かねてよりお世話になっておりました同門の藪本正文先生のもとで勤務させて頂きました。そして、この度御縁あって生まれ育った地域である南区西翠町にて、令和5年11月から「みどりまちファミリー歯科」を開業させて頂く運びとなりました。微力ではございますが、地域医療に少しでも貢献できるように努めて参りたいと存じます。

入会に際しましては、多くの先生方にご指導、ご助言を賜り、誠にありがとうございました。まだまだ未熟者ですので、先生方にはご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



野村純平

広島市歯科医師会の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
この度、広島市歯科医師会に入会させていただきました野村純平と申します。

私は、広島大学を卒業後、広島赤十字・原爆病院 歯科口腔外科にて研修を行い、その後、中区の医療法人おひさま歯科・小児歯科に勤務しておりました。この度、当医療法人の分院として、おひさま脳神経外科・歯科の開業を令和5年11月6日に予定しており、これを機に広島市歯科医師会に入会させていただいた次第です。

入会に際しまして、諸先生方からご指導、ご助言を賜り、誠にありがとうございました。微力ではございますが地域医療に貢献できるよう精進して参ります。まだ至らぬ点もあるかと存じますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

広島市歯科医師会は会員の皆様に対する情報提供の一助として会員専用のLINE公式アカウント(非公開)を開設しました。



LINE 公式アカウント  
友達募集中！



「@698zzzkc」で検索

このアカウントは非公開のものです。  
広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。  
登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

### 今までの配信内容

- 10月6日配信 歯科医師認知症対応力向上研修開催追加募集のご案内について
- 10月16日配信 「第62回広島県歯科医学会 併催 第107回広島大学歯学会例会」について
- 10月17日配信 原油価格・物価高騰に係る医療事業者補助金について

新規登録時に管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を下段のテキストボックスに入れて送信してください。

# 10月定例理事会報告

## 「部外報告」

- 9月28日 新規個別指導立会  
9月30日 令和5年度歯科医師認知症対応力向上研修(広島会場)  
〃 社会保険診療報酬支払基金再審査  
10月2日 「元気じゃけんひろしま21(第2次)推進会議」  
生活習慣病予防部会及び働く世代の健康づくり部会  
10月5日 (県歯)会員サポート室会議  
〃 (県歯)理事会  
10月7日 第54回十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会(川崎)  
10月13日 イベント業者来館挨拶  
10月15日 (県歯)健康ソフトボール大会  
10月18日 広島県国保連合会歯科再審査部会  
10月19日 広島県国保連合会歯科審査部会  
23日  
10月20日 社会保険診療報酬支払基金審査  
25日  
10月20日 国保組合理事会  
10月21日 ニューレジリエンスフォーラム中国ブロック広島大会

## (連盟関係)

- 10月1日 緒方直之君 広島県議会副議長就任を祝う会  
10月3日 母谷龍典君の第80代広島市議会議長就任を祝う会  
10月25日 ゆざき知事を囲む県政懇談勉強会

## 「総務関係」

- 9月30日 東区支部懇親会  
10月13日 第1回学術講演会  
10月18日 第4回支部長・副支部長会  
10月23日 三役会  
10月25日 定例理事会

## (慶弔関係)

- 9月2日 中国・四国地区歯科医師会連合会会長表彰  
中区支部 河村久輝先生  
10月14日 厚生労働大臣表彰(歯科保健事業功労者)  
西区支部 椿田直也先生

## (入会退会関係)

- 9月29日 中区支部 岡田信輔先生入会  
10月10日 入会前面談(横山真樹先生)  
10月17日 入会後面談(岡田信輔先生)

## (県歯理事会関係)

- 10月5日 (県歯)理事会

## (1) 総務部 (大井手理事)

- 10月10日 入会前面談(横山真樹先生)  
10月11日 (県歯)医療管理部常任委員会  
10月17日 入会後面談(岡田信輔先生)  
10月24日 定例委員会

## (2) 学術部 (花岡理事)

- 10月6日 定例委員会  
10月13日 第1回学術講演会

## (3) 厚生部 (谷理事)

- 10月3日 定例委員会  
10月7日 第54回十三指定都市歯科医師会役員連絡協議会(川崎)  
10月11日 (県歯)福祉厚生・育成部常任委員会  
10月15日 (県歯)健康ソフトボール大会  
10月16日 FMちゅーピー収録  
〃 厚生部外部委員会

## (4) 地域歯科保健部

- 10月16日 定例委員会

## <地域保健> (土屋理事)

- 9月29日 令和5年度第3回広島市障害者施策推進協議会  
10月3日 「元気じゃけんひろしま21(第2次)推進会議」  
健康づくりを支える社会環境整備部会  
10月11日 令和5年度南区5包括合同在宅医療・介護関係者研修会・連絡会  
10月13日 健康科学館パネル展示監修小委員会  
〃 第1回学術講演会  
10月16日 FMちゅーピー収録  
10月19日 令和5年度南区認知症初期集中支援事業研修会  
10月25日 【Web】南区地域医療医歯薬連携研修会事前打合せ会

## <地域連携> (藤田理事)

- 9月28日 令和5年度介護予防ケアマネジメント研修  
10月2日 「元気じゃけんひろしま21(第2次)推進会議」高年齢世代の健康づくり部会  
10月3日 令和5年度第3回広島市社会福祉審議会高年齢福祉専門分科会  
10月5日 西区介護認定審査会  
10月10日 西区フレイルチェック活動打合せ会  
10月12日 中広地域包括支援センター主催出前出張講座  
〃 西区介護認定審査会  
10月13日 健康科学館パネル展示監修小委員会  
10月19日 西区介護認定審査会

## <学校保健> (細原理事)

- 9月29日 東区多職種連携の会～ひがしの絆～  
10月3日 「元気じゃけんひろしま21(第2次)推進会議」次世代の健康づくり部会  
10月21日 (県歯)令和5年度広島県警察歯科医会研修会

## (5) 広報部 (小島理事)

- 10月3日 校正委員会(だより10月号)  
10月16日 FMちゅーピー収録



## FMちゅーピー (放送日)

- 11月1日 「スポーツマウスガードの役割」  
広島市歯科医師会 土屋 崇文氏
- 11月15日 「歯磨きを怠った結果は」  
広島市歯科医師会 谷 巖範氏

## (6) 広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数  
一般サイト 訪問者 1,762 (累計 130,343)  
ページビュー 10,177 (累計 1,543,355)  
会員サイト 訪問者 204 (累計 30,286)  
ページビュー 574 (累計 291,152)  
LINE公式アカウント 登録者数10月24日 137名

## (7) 特別委員会

- 10月25日 新興感染症対策特別委員会

## (8) 救急蘇生委員会

## (9) 各部事業計画について

## (10) 歯科医療安全相談

- 9月30日 相談 抜歯後の対応について  
(70歳代女性)
- 10月6日 相談 レセプト記載専門職について  
(西区会員)
- 10月18日 相談 セラミック補綴物の料金について  
(60歳代男性)

## 「協議事項」

- (1) 入会について (1名)  
西区支部1名継続審議中
- (2) 会費について  
診療状況変更による会費額変更について1名承認
- (3) 「太田川」執筆者候補(巻頭言・特集・提言)について  
執筆者決定
- (4) クリスマスパティーについて  
来賓者について協議
- (5) 新年互礼会について  
来賓者、引き出物について協議
- (6) 終身会員の検討について  
終身会員の定義について協議
- (7) 令和5年度カーブ健診について  
健診内容について協議
- (8) 令和5年度広島市地域包括支援センターと圏域歯科  
医師との研修会について  
研修会について説明
- (9) 令和5年度歯科医師等認知症対応力向上研修について  
研修の流れについて協議
- (10) ハハ姉妹スタンプ作成について  
進捗状況について説明
- (11) 学校歯科医協議会について  
協議会の流れについて説明
- (12) その他  
特になし

## 「その他」

特になし

### 会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事小島将督までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局

E-Mail: [hiroshima@dentalpark.net](mailto:hiroshima@dentalpark.net)

広報部担当理事 小島将督

E-Mail: [kojima.d.c@icloud.com](mailto:kojima.d.c@icloud.com)

### 広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hiroshima-da.com/>

### 会員専用ページ

ユーザー名 : **Futaba**

本会PASS : **2622662**

協議会PASS : **welfare**

投稿記事締め切りは**毎月25日**です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

### 広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672

